

食と農への関心・関わり度についてのアンケート結果

本県では、本県農業・水産業の基本的な施策の展開方向を示す「滋賀県農業・水産業基本計画」(計画期間:令和3年度～令和7年度)を策定し、基本理念「県民みんなで創る 滋賀の『食と農』を通じた『幸せ』」の実現に向けて施策を進めています。

このたび、計画の策定や推進に役立てるため、「食と農への関心・関わり度」についてアンケートを実施しました。

★調査時期 : 令和4年8月

★対象者 : 県政モニター299人

★回答数 : 244人(回収率81.6%)

★担当課 : 農政水産部 農政課

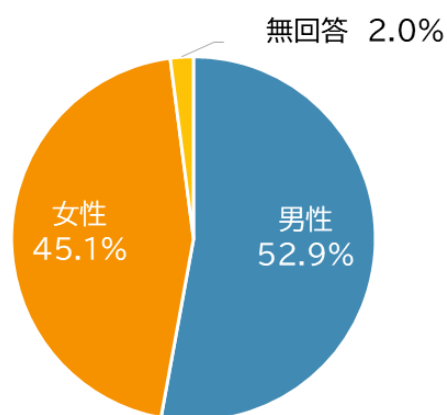
※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。

【属性】

◆性別

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-----|-------|--------|
| 男性 | 129 | 52.9% |
| 女性 | 110 | 45.1% |
| 無回答 | 5 | 2.0% |
| 合計 | 244 | 100.0% |

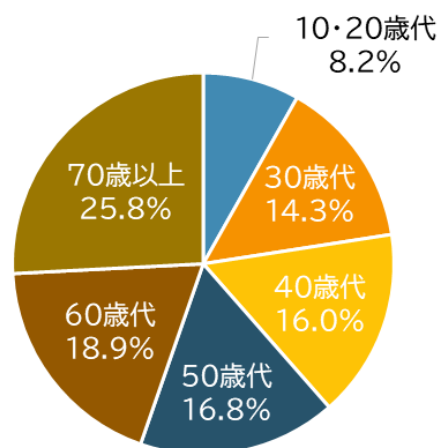
【性別】



◆年代

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|---------|-------|--------|
| 10・20歳代 | 20 | 8.2% |
| 30歳代 | 35 | 14.3% |
| 40歳代 | 39 | 16.0% |
| 50歳代 | 41 | 16.8% |
| 60歳代 | 46 | 18.9% |
| 70歳以上 | 63 | 25.8% |
| 合計 | 244 | 100.0% |

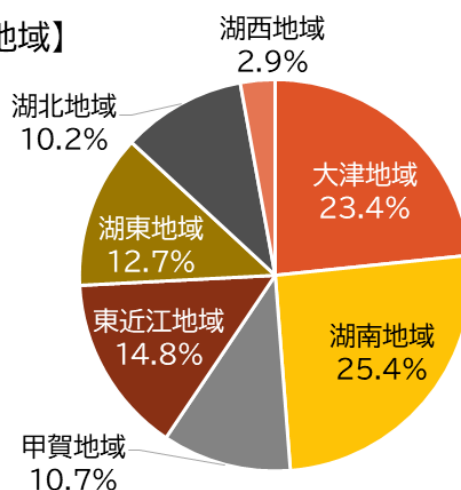
【年代】



◆地域

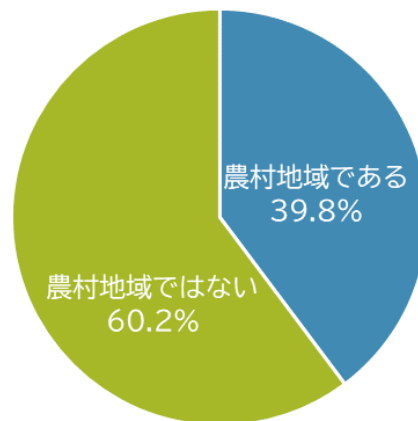
| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-------|-------|--------|
| 大津地域 | 57 | 23.4% |
| 湖南地域 | 62 | 25.4% |
| 甲賀地域 | 26 | 10.7% |
| 東近江地域 | 36 | 14.8% |
| 湖東地域 | 31 | 12.7% |
| 湖北地域 | 25 | 10.2% |
| 湖西地域 | 7 | 2.9% |
| 合計 | 244 | 100.0% |

【地域】



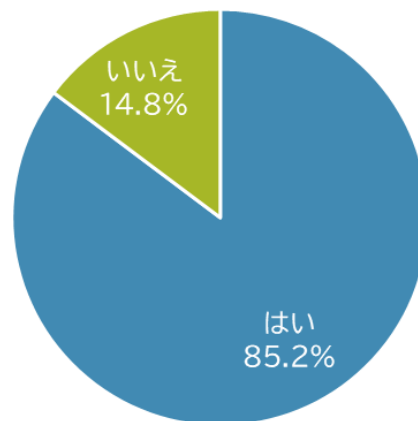
問1 お住まいはご自身から見て農村地域ですか。(回答チェックは1つだけ n=244)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|----------|-------|--------|
| 農村地域である | 97 | 39.8% |
| 農村地域ではない | 147 | 60.2% |
| 合計 | 244 | 100.0% |



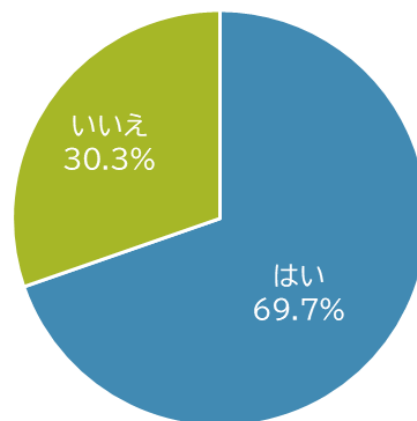
問2 ご自身が食べる食材について、産地や生産者などを見て、選んで購入することはありますか(ご自身で生産しているものを除く)。(回答チェックは1つだけ n=244)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-----|-------|--------|
| はい | 208 | 85.2% |
| いいえ | 36 | 14.8% |
| 合計 | 244 | 100.0% |



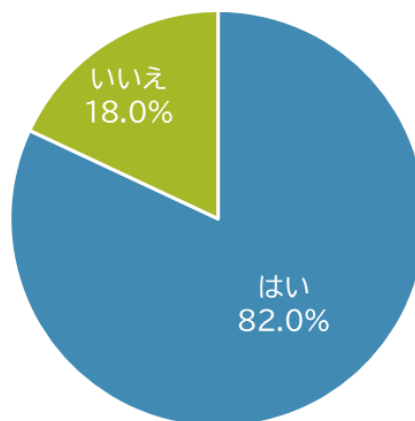
問3 ここ1週間の食事の中で、滋賀県産の食材や滋賀県産の食材が使われている商品を選んで購入しましたか(ご自身で生産しているものを除く)。(回答チェックは1つだけ n=244)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-----|-------|--------|
| はい | 170 | 69.7% |
| いいえ | 74 | 30.3% |
| 合計 | 244 | 100.0% |



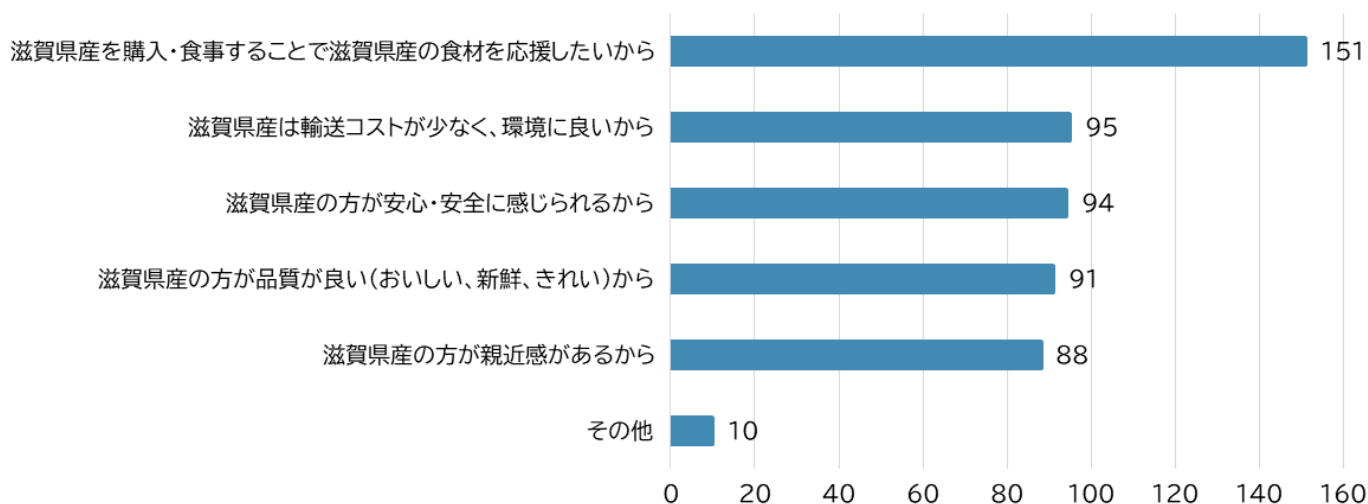
問 4 滋賀県産の食材や、滋賀県産の食材が使われている商品ができる限り買いたい・食べたいと思いますか。(回答チェックは1つだけ n=244)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-----|-------|--------|
| はい | 200 | 82.0% |
| いいえ | 44 | 18.0% |
| 合計 | 244 | 100.0% |



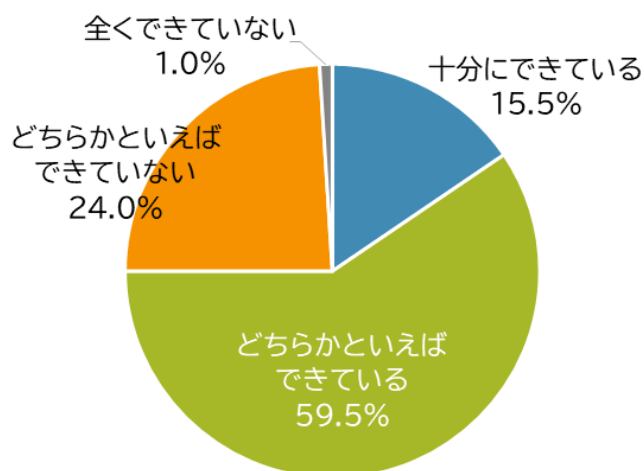
問 5 問4で「1. はい」と回答された方におたずねします。その理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=200)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------------------------|-------|-------|
| 滋賀県産を購入・食事することで滋賀県産の食材を応援したいから | 151 | 75.5% |
| 滋賀県産の方が安心・安全に感じられるから | 94 | 47.0% |
| 滋賀県産の方が品質が良い(おいしい、新鮮、きれい)から | 91 | 45.5% |
| 滋賀県産の方が親近感があるから | 88 | 44.0% |
| 滋賀県産は輸送コストが少なく、環境に良いから | 95 | 47.5% |
| その他 | 10 | 5.0% |



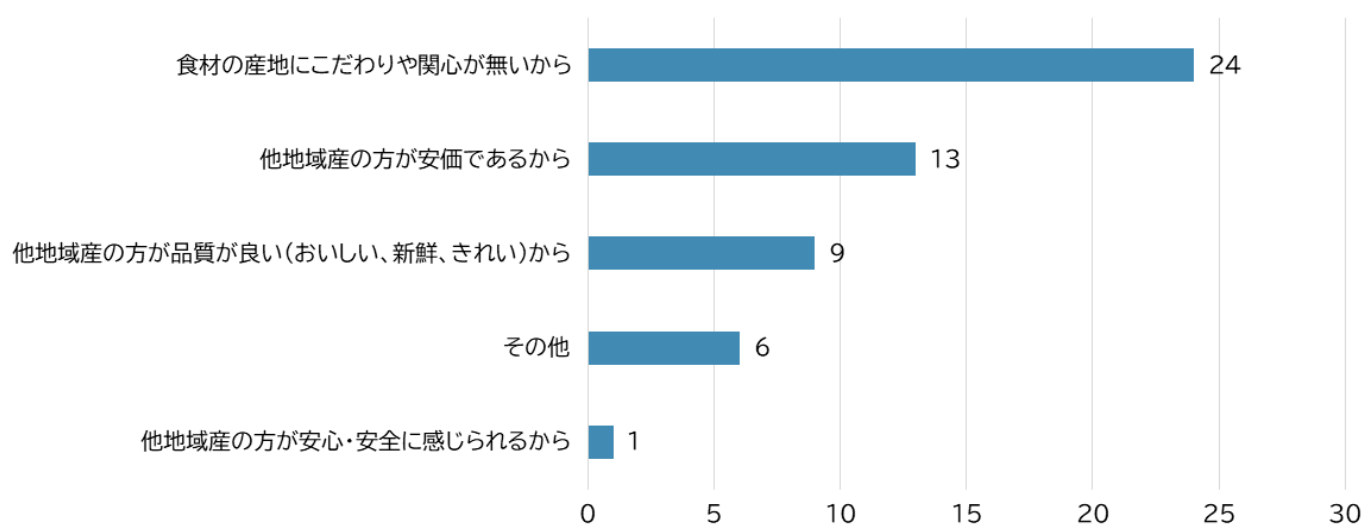
問 6 問4で「1. はい」と回答された方におたずねします。滋賀県産の食材や滋賀県産の食材が使われている商品を、欲しい時に欲しい量を買うまたは食べることができていますか。(回答チェックは1つだけ n=200)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|----------------|-------|--------|
| 十分にできている | 31 | 15.5% |
| どちらかといえばできている | 119 | 59.5% |
| どちらかといえばできていない | 48 | 24.0% |
| 全くできていない | 2 | 1.0% |
| 合計 | 200 | 100.0% |



問 7 問4で「2. いいえ」と回答された方におたずねします。その理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=44)

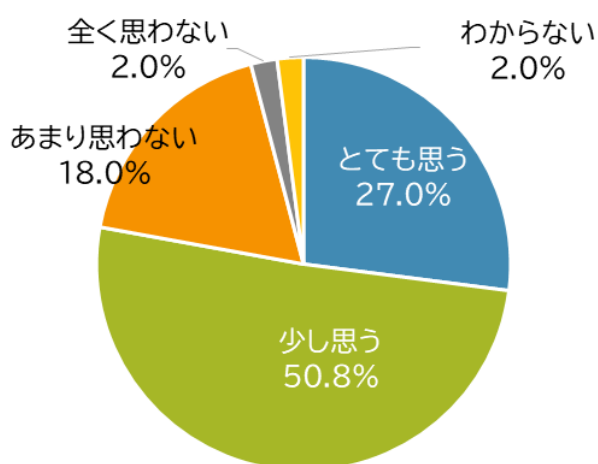
| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-----------------------------|-------|-------|
| 食材の産地にこだわりや関心がないから | 24 | 54.5% |
| 他地域産の方が安心・安全に感じられるから | 1 | 2.3% |
| 他地域産の方が品質が良い(おいしい、新鮮、きれい)から | 9 | 20.5% |
| 他地域産の方が安価であるから | 13 | 29.5% |
| その他 | 6 | 13.6% |



問 8 滋賀県は農山漁村が身近にあり、農作業や様々な体験、農畜水産物の購入等の多様な場面で農業・水産業との関わりを持つことができます。

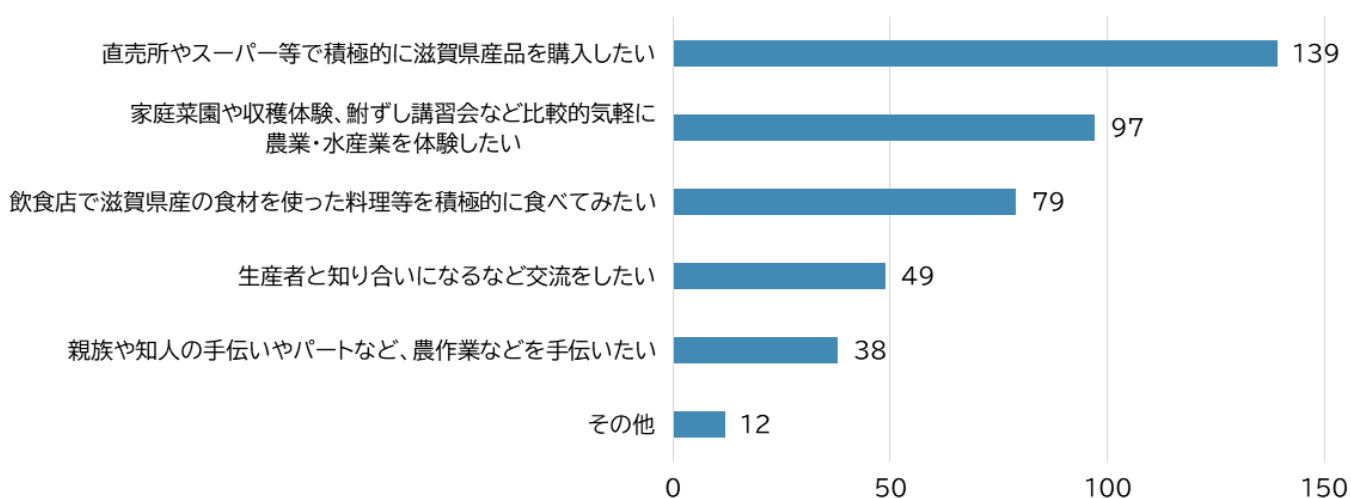
ご自身の生活の中に何らかの方法で滋賀県の農業・水産業と関わりを持ちたいと思いますか。(回答チェックは1つだけ n=244)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|---------|-------|--------|
| とても思う | 66 | 27.0% |
| 少し思う | 124 | 50.8% |
| あまり思わない | 44 | 18.0% |
| 全く思わない | 5 | 2.0% |
| わからない | 5 | 2.0% |
| 合計 | 244 | 100.0% |



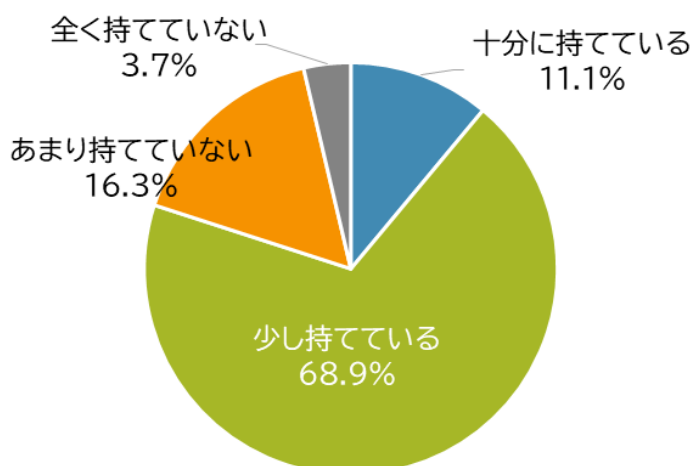
問 9 問8で「1. とても思う」または「2. 少し思う」と回答された方におたずねします。どのような形で農業・水産業との関わりをもちたいですか。(回答チェックはいくつでも n=190)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|--------------------------------------|-------|-------|
| 親族や知人の手伝いやパートなど、農作業などを手伝いたい | 38 | 20.0% |
| 家庭菜園や収穫体験、鮎ずし講習会など比較的気軽に農業・水産業を体験したい | 97 | 51.1% |
| 生産者と知り合いになるなど交流をしたい | 49 | 25.8% |
| 直売所やスーパー等で積極的に滋賀県産品を購入したい | 139 | 73.2% |
| 飲食店で滋賀県産の食材を使った料理等を積極的に食べてみたい | 79 | 41.6% |
| その他 | 12 | 6.3% |



問 10 問8で「1.とても思う」または「2.少し思う」と回答された方におたずねします。現在の生活の中で、実際に関わりを持っていますか。(回答チェックは1つだけ n=190)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-----------|-------|--------|
| 十分に持っている | 21 | 11.1% |
| 少し持っている | 131 | 68.9% |
| あまり持っていない | 31 | 16.3% |
| 全く持っていない | 7 | 3.7% |
| 合計 | 190 | 100.0% |



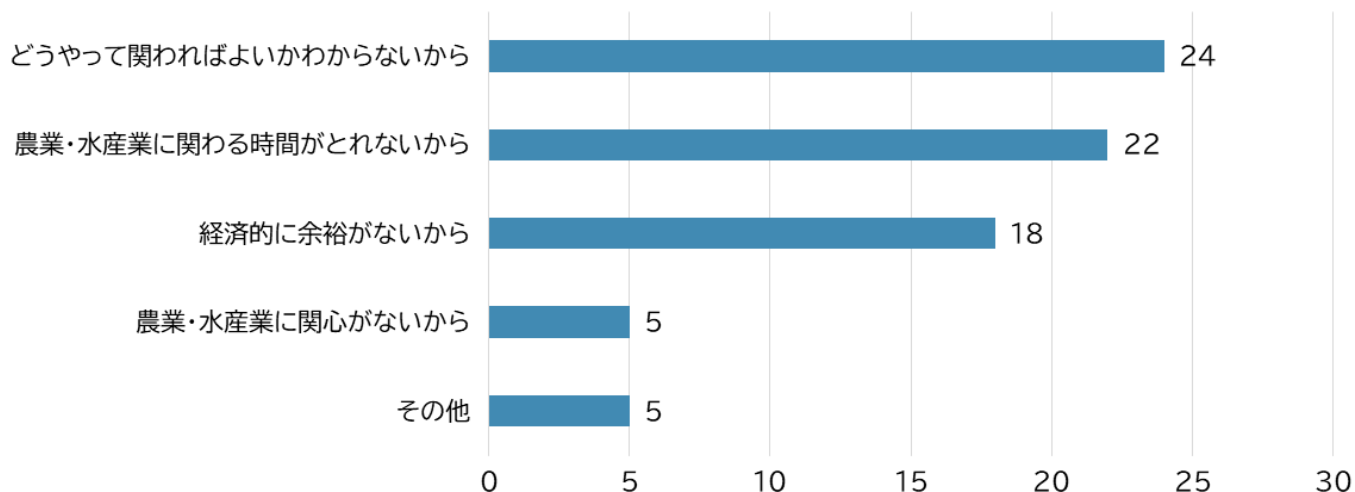
問 11 問 10 で「3.あまり持っていない」または「4.全く持っていない」と回答された方におたずねします。その理由は何ですか(抜粋)。

【主な意見】

- ・知り合いに農業・漁業の従事者がおらず、話を聞いたり何らかの体験をする場が無い。
- ・何処で関わるのか分からないため。
- ・機会がない、機会があっても自分の時間との調整がうまくできない。
- ・体験や生産者との交流をしたい気持ちはあるが、県外から引っ越してきたこともあり最初の一步を踏み出しにくい。また、食品価格が上昇し、値段で選ぶことが増えている。
- ・県産物を購入するように努力しているが、実際に生産者と触れ合う機会を持っていない。また、スーパーなどでは、県産物は売り場面積も小さく種類も少ないので選べない時がある。
- ・スーパーマーケットでの買い物が多いので、その店舗での取り扱いに縛られてしまう。
- ・県内産の商品を扱っている場所が近隣のスーパーでもほんの一角しかなく、また、価格も他県産に比べると高いためどうしても価格の安い他県産を購入してしまう
- ・現在は、仕事をしているため時間が取れないが、数年後には定年になるため、機会があればいろいろと参加させて欲しい。
- ・どのように生産者と関係を持たればよいか方法がわからない。飲食店に関しても、滋賀県産を使用していることをPRしている店が少ない。
- ・農産業や水産業と関わっていると実感できる機会が少ないように思うから。

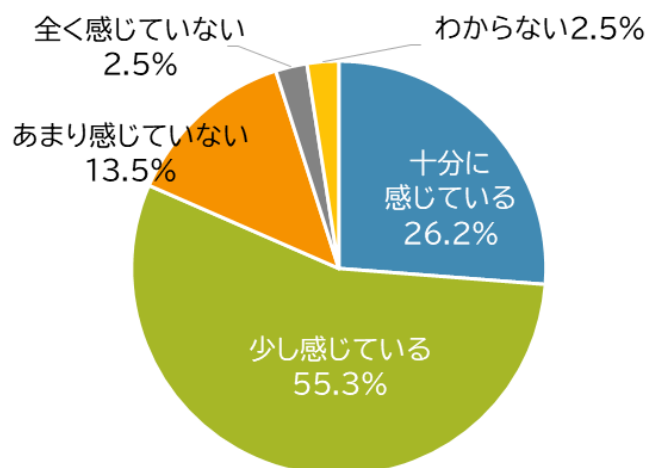
問 12 問8で「3. あまり思わない」または「4. 全く思わない」と回答された方におたずねします。その理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=49)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|---------------------|-------|-------|
| 農業・水産業に関心がないから | 5 | 10.2% |
| 農業・水産業に関わる時間がとれないから | 22 | 44.9% |
| 経済的に余裕がないから | 18 | 36.7% |
| どうやって関わればよいかわからないから | 24 | 49.0% |
| その他 | 5 | 10.2% |



問 13 滋賀の食と農を通じて、農産物を作る楽しさ、食べる楽しさ、田園風景から感じる心の安らぎ等といった「幸せ」を感じられていますか。(回答チェックは1つだけ n=244)

| 項目 | 人数(人) | 割合(%) |
|-----------|-------|--------|
| 十分に感じている | 64 | 26.2% |
| 少し感じている | 135 | 55.3% |
| あまり感じていない | 33 | 13.5% |
| 全く感じていない | 6 | 2.5% |
| わからない | 6 | 2.5% |
| 合計 | 244 | 100.0% |



問 14 その他、あなたの暮らしの中の「食と農」について御意見がありましたらお聞かせください。(400 字以内・任意 抜粋)

【主な意見】

<農業・水産業と関わる機会について>

- ・食と農は命の根源だと思っています。今は仕事が忙しくて時間が取れないが、時間にゆとりができれば農に関わっていきたくて考えています。まずは家庭菜園程度からになると思いますが。
- ・近江米、近江牛、鮎寿司、メロン、なし等、食材の宝庫であるけれど、ふれあう機会が少ないので体験の機会を増やしてもらいたい。
- ・滋賀県の食と農において、人のすそ野を広げたい、大賛成です。食材をスーパーで買うことが当たり前ではない、いつでも好きなお野菜が手に入るというのも当たり前ではない、そういうことにまず気がつき、自分が何を選択するのか意識を向けた時、農業・漁業と自分の暮らしが繋がってくるのではないかと、行政の発信だけでなく、もっとリアルに県民の生活に浸透していくための取組が必要ではないかと思っています。
- ・地元を応援する意味で、同じ買うなら滋賀県のを購入しています。自身の生活で作物をつくる側になるのは難しいですが、子供と家庭菜園で野菜が出来る楽しさを感じています。時間と機会があれば関わって行きたいと思えます。
- ・とくに漁業は触れる機会が少なく、将来的になりたいと思っても漁業はとても難しいです。農業のように将来に気軽に選択できるようになるといいなと思います。
- ・ご近所からよく獲れたての野菜を頂きます。私は釣った鮎をお返しにお渡しし、物々交換をしました。田舎ならではのこうした風習を体験することで滋賀県に住んでよかったなと感じています。
- ・休耕田の家庭菜園貸し出しを進めていただきたい。自分で育てた野菜は、美味しく思います。農業者の指導のもと野菜作りする。コミュニケーションが、生まれるのでは、と思います。

<地産地消について>

- ・滋賀県人は、もっと地元に関心を持ち、積極的に野菜などを買うべきだと思う。小さいお店こそ、県は支援すべきだと思う。
- ・県内産の食材を購入できる場所の周知がもっと必要だと感じます。またスーパーなどでも滋賀県産の商品を扱うコーナーを見かけるが、価格が高いものもあるので県民価格のようなものがあればさらに県内産の購入率もあがっていくと思います。
- ・少し前よりは、地産地消など関わりが深くなったと思います。これからももっとみんなが身近に感じるようになる事が理想なので、滋賀の特産品、名産品を広報などで取り上げて欲しいです。
- ・全ての食材を地産地消にすることは無理だが、出来るだけ滋賀産の食材を味わいたいと考えております。その意味でも、滋賀の農業、水産業が盛んになってほしい。
- ・農協だと県内産のお野菜が手に入りますが、どうしてもほかのものも購入するため大型スーパーに行ってしまう。滋賀県産のお野菜やお肉、お米などをサブスクできるようにしてほしいです。家に届かなくても近くにもらいに行くなど。また、レシピや使い方を同封するなり、QRコードを添付してほしいです。
- ・地元産で生産者の顔が見える作物等が一番安全で良い。また、それらを県民が進んで食することで需要ができ地元全体が潤う。特徴のある野菜や果物等があるのだから、その特徴を生かして他との差別化を図って PR を工夫し県民に理解してもらい、流通体制を確立させて地産地消をもっと促進すべき。せっかく世界農業遺産に認定されたのに、もっと大々的に PR し県民に広報してほしい。その一つとして取り組まれたロゴマークの使用は良いと思う。
- ・滋賀県産の人気のものを購入するには販売所に出向き整理券をとったり、長い時間並ばなくてははいけません。インターネットでは購入できないものが多いです。高齢者、障害者などの買い物弱者でも欲しいものを欲しい時に購入できる方法はないでしょうか。

・食材を購入しようという動機に『滋賀県産』ではなく『おいしい・安全・安い』から購入し、結果的にそれが滋賀県産であったということにならないと県民が県産食材を購入する機会が増えないと思う。今後すそ野を増やすには変化が必要と考える。また、滋賀の幸の食材のレパートリーが少ない。ほぼ、”近江牛”と”近江米”であり、牛肉や琵琶マス、鮎ずしを滋賀県民が日々の生活で購入する機会は少なく、特産物としての扱いとなっていると思われる。もっと、日常の生活で購入できる食材に力を入れる必要があると考える。

<特産品づくりについて>

・滋賀県はイネ、コムギは盛んだと思うが、野菜はあまり盛んでない(量、種類)印象。何か一つ、県で PR する野菜を決め、重点的に生産量、品質を上げる取り組みをしてはいかがでしょうか。いまはそれぞれの農家が好きなものを作っており、県全体で統一された戦略が必要だと思います。

<食育について>

・農家の方々のおかげで美味しい食事ができていることに感謝する、という事を小さい子どものうちから自然に学べる機会があると良いと思います。つい安さに走ってしまうが、地元の農家さんにも働きがいがあるように、十分な収入が得られるようにすることも大切と思います。